

運 営 規 程

医療法人社団 聖愛会

ぎおん牛田病院訪問看護ステーション

〒731-0113

広島市安佐南区西原八丁目29番24号

TEL (082) 875-0134

FAX (082) 875-0135

ぎおん牛田病院訪問看護ステーション運営規程

(事業の目的)

第1条 この規程は、医療法人社団聖愛会が設置するぎおん牛田病院訪問看護ステーション（以下「ステーション」という。）の職員及び業務管理に関する重要事項を定めることにより、ステーションの円滑な運営を図るとともに、指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の事業（以下「事業」という。）の適正な運営及び利用者に対する適切な指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護（以下「訪問看護」という。）の提供を確保することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 ステーションは、訪問看護を提供することにより、生活の質を確保し、健康管理及び日常生活活動の維持・回復を図るとともに、在宅医療を推進し、快適な在宅療養ができるよう努めなければならない。

- 2 ステーションは事業の運営にあたって、必要なときに必要な訪問看護の提供ができるよう努めなければならない。
- 3 ステーションは事業の運営にあたって、関係区市町村、地域包括支援センター、保健所及び近隣の他の保健・医療又は福祉サービスを提供する者との密接な連携を保ち、総合的なサービスの提供に努めなければならない。

(事業の運営)

第3条 ステーションは、この事業の運営を行うにあたっては、主治医の訪問看護指示書（以下「指示書」という。）に基づく適切な訪問看護の提供を行う。

- 2 ステーションは、訪問看護を提供するにあたっては、ステーションの保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士（以下「看護師等」という。）によってのみ訪問看護を行うものとし、第三者への委託によって行ってはならない。

(事業の名称及び所在地)

第4条 訪問看護を行う事業所の名称及び所在地は、次の通りとする。

- (1) 名称：ぎおん牛田病院訪問看護ステーション
- (2) 所在地：広島市安佐南区西原八丁目 29 番 24 号

(職員の職種、員数及び職務内容)

第5条 ステーションに勤務する職種、員数及び職務内容は次の通りとする。

- (1) 管理者：看護師 1名（常勤 1名 看護職員と兼務）
管理者は、所属職員を指揮・監督し、適切な事業の運営が行われるように統括する。
- (2) 看護職員：看護 12名 准看護師 1名（常勤1名 管理者と兼務、非常勤 12名）
訪問看護計画書及び報告書（准看護師は除く）を作成し、訪問看護を担当する。
- (3) リハビリ職員：理学療法士 4名 作業療法士 5名 言語聴覚士 3名（非常勤 12名）
訪問看護（在宅におけるリハビリテーション）を担当する。

(営業日及び営業時間等)

第6条 ステーションの営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- (1) 営業日：通常月曜日から日曜日までとする。
- (2) 営業時間：午前9時から午後6時までとする。
- 2 24時間365日のサービス提供。常時連絡体制あり。

(訪問看護の利用時間及び利用回数)

第7条 居宅サービス計画書に基づく訪問看護の利用時間及び利用回数は、訪問看護計画に定めるものとする。
但し医療保険適用となる場合を除く。

※ 介護保険の被保険者が医療保険適用となる場合は以下のとおり
末期悪性腫瘍その他厚生労働大臣が定める疾病の利用者及び急性増悪等による特別指示書を
交付された利用者等

(訪問看護の提供方法)

第8条 訪問看護の提供方法は次のとおりとする。

- (1) 利用者がかかりつけ医師に申し出て、主治医がステーションに交付して指示書により、看護計画書を作成し訪問看護を実施する。
- (2) 利用者に主治医がいない場合は、ステーションから居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、地区医師会、関係区市町村等、関係機関に調整等を求め対応する。

(訪問看護の内容)

第9条 訪問看護の内容は次のとおりとする。

- (1) 療養上の世話
清拭・洗髪などによる清潔の管理・援助、食事（栄養）及び排泄等日常生活療養上の世話、ターミナルケア
- (2) 診療の補助
褥瘡の予防・処置、カテーテル管理等の医療処置
- (3) リハビリテーションに関すること。
- (4) 家族の支援に関すること。
家族への療養上の指導・相談、家族の健康管理

(緊急時における対応方法)

第10条 看護師等は訪問看護実施中に、利用者の病状に急変、その他緊急事態が生じた時は、速やかに主治医に連絡し、適切な処置を行うものとする。主治医への連絡が困難な場合は、救急搬送等の必要な処置を講ずるものとする。

- 2 前項について、しかるべき処置をした場合には、速やかに管理者及び主治医に報告しなければならない。

(利用料等)

第11条 ステーションは、基本利用料として介護保険法等に規定する厚生労働大臣が定める額の支払いを利用者から受けるものとする。

介護保険で居宅サービス計画書に基づく訪問看護を利用する場合は、介護報酬告示上の額とし利用料のうち、各利用者の負担割合に応じた額を徴収するものとする。但し、支給限度額を越えた場合は、全額利用者の自己負担とする。

- 2 ステーションは、基本利用料のほか以下の場合はその他の利用料として、利用者から受けるものとする。
 - (1) 訪問看護と連携して行われる死後の処置 3, 240 円
 - (2) 次条に定める通常の業務の実施地域を越える場合の交通費 実費
1キロメートル当たり 20円

(通常業務を実施する地域)

第12条 ステーションが通常業務を行う地域は、広島市安佐南区、安佐北区、東区とする。

(相談・苦情対応)

- 第13条 ステーションは、利用者からの相談、苦情等に対する窓口を設置し、指定居宅サービス等に関する利用者の要望、苦情等に対し、迅速に対応する。
- 2 ステーションは、前項の苦情の内容等について記録し、その完結の日から2年間保存する。

(事故処理)

- 第14条 ステーションは、サービス提供に際し、利用者に事故が発生した場合には、速やかに区市町村、介護支援専門員、利用者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じる。
- 2 ステーションは、前項の事故の状況及び事故に際して採った処置について記録し、その完結の日から2年間保存する。
 - 3 ステーションは、利用者に賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行う。

(身体の拘束等)

- 第15条 当事業所は、原則として利用者に対し身体拘束を行わない。但し、利用者あるいは他の利用者等の生命または身体を保護するため等緊急やむを得なく身体拘束を行う場合、または行う前には、以下の対応、記録などを整備する。

- (1) 身体拘束廃止の為のカンファレンスを行う。
- (2) 身体拘束が必要なケースが発生した場合は、日々の記録などから利用者の心身の状況を把握して、必要性を判断する。
- (3) 身体拘束を行う場合は、利用者または家族への説明を行うとともに、解除の予定日などが見込める場合は、予定日を定めた計画を作成する。
- (4) 身体拘束の実施中は経過を記録し、利用者または家族への説明を行う。
- (5) 身体拘束解消後には妥当性の検証と記録を行う。
- (6) 職員の研修を年1回行う。

(高齢者虐待防止のための措置)

第16条

- (1) 当事業所は、利用者の権利擁護に関わる相談などに対応し、成年後見制度などの制度の情報提供や、成年後見人となるべき人を薦めることの出来る団体の紹介などを行う。また、虐待があったと思われる場合は、遅延なく市町村に通報するものとする。
- (2) 虐待行為を当該事業所職員が市町村に通報した場合であっても、通報したことを理由にその職員を解雇その他不利益となる取扱いは一切行わない。
- (3) 職員の研修を年1回行う。
- (4) 責任者を管理者両見久美子とする。

(その他運営についての留意事項)

- 第17条 ステーションは、社会的使命を充分認識し、職員の資質向上を図るために次に掲げる研修の機会を設け、また、業務体制を整備するものとする。

- (1) 採用後3ヶ月以内の初任研修
 - (2) 年2回の業務研修
- 2 職員は、正当な理由がある場合を除き、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らしてはならない。退職後も同様とする。
 - 3 ステーションは、利用者に対する指定訪問看護等の提供に関する諸記録を整備し、その完結の日から5年間保管しなければならない。(医療及び特定療養費に係る療養に関する諸記録等は3年間、診療録は5年間保管とする)

(附則)

平成26年8月1日施行

平成26年11月1日改訂
平成27年4月1日改訂
平成27年5月1日改訂
平成27年5月20日改訂
平成27年8月1日改訂
平成27年10月27日改訂
平成27年12月1日改訂
平成28年2月1日改訂
平成28年2月9日改訂
平成29年3月1日改訂
平成30年4月1日改訂
2019年4月15日改訂
2020年4月20日改訂
2020年6月5日改訂
2021年4月26日改訂
2022年4月25日改訂
2024年8月11日改訂